

～今 障がい者雇用を考えている皆様のための7千情報誌～

イマ・カラー

【第13号】
平成28年6月24日発行

障がい者を雇用する企業訪問⑫

マックスバリュ北海道株式会社
に行ってきました！

【会社概要】

- 社名 マックスバリュ上江別店
- 所在地 江別市上江別442番地16
- 設立 2009年5月
- 従業員数 約120名
- 営業種目 小売業



個性を活かす職場環境の工夫

マックスバリュ北海道株式会社は、障がい者雇用を積極的に行っている企業で、以前もザ・ビッグ江別店を取材させていただきました。上江別店では約120名の従業員の内、障がいのある方2名を雇用しています。今回は、快く取材に応じてくれた宗原さんと同店の土門店長にお話を伺いました。

宗原さんは加工食品部門の担当で、主に飲料の品出しをしています。同店の設立当初から勤務するベテラン職員の一人です。1日7～8時間ほど勤務しています。「これから繁忙期を迎え、忙しくなるので大変ですが、毎日仕事に行くのが楽しみです。疲れていても仕事は休みません。週に2日の休みには、大好きな電車に乗って遠出するのが楽しみです。」と笑顔で話してくれました。

土門店長からは、「飲料の品出しは素早く的確で、戦力として十二分の働きです。バックヤードの整理整頓も得意です。」との話がありました。宗原さんも、仕事を楽しめているので、これからも同店で仕事を続けていきたいと話し、素晴らしい職場環境であることが伝わってきました。

同店では障がいの有無よりも個人の向き・不向きを見極めることに重点を置き、配置転換等も柔軟に対応しています。職場では、簡潔で分かりやすく指

示することを心掛けるようにしており、取材中も短く的確な指示の音が聞こえていました。さらに宗原さん用に次の仕事の内容が大きく手書きされたメモもあり、働くことへの配慮が感じられました。

土門店長は、「小売業界は人手不足で従業員の確保に苦慮している。障がい者雇用は、個性の違いを理解し、周囲が配慮することで本人の能力を發揮できる環境を整えることが大事。従業員同士にも助け合いの精神が芽生え、職場の雰囲気もよくなった。障がい者雇用は、これからの戦力として大いに期待できるので、積極的に取り組んでいきたい。」と話してくれました。

マックスバリュ上江別店では、従業員の個性を活かし、ひとりひとりの能力を十分に發揮するために全員が一丸となって取り組む職場環境の工夫が感じられました。



毎日働くのが
楽しいです！
と、笑顔で話
してくれまし
た。

障がい者差別解消法が施行されました。

平成28年4月1日から障がい者差別解消法が施行されました。

障がいを理由とする差別的取り扱いを禁止し、社会的障壁を取り除くための合理的配慮を行い、障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくることを目的としています。国の行政機関、地方公共団体及び民間事業者が対象となります。

詳細 江別市福祉課 ☎011-381-1031

※掲載希望又は内容についてのお問い合わせは、下記までご連絡願います。

●障がい者の就労支援を検討する

江別市自立支援協議会就労支援部会

『イマ・カラー』発行事務局

江別市役所健康福祉部福祉課障がい福祉係
〒067-8674 江別市高砂町6

☎011-381-1031

『イマ・カラー』には、“今から始める”、“今 現在の自分の色”という二つの意味が込められています。